

お知らせ

【1月】  
 (sugi cafe) さん  
 常滑のやきもの散歩道にある sugi cafe  
 さんに今月もガラス雑貨搬入してきました。



〈川のほとりの雑貨屋さん〉さん  
 豊田市にある川端建設株式会社さん内にある雑貨屋さんです。に今月はガラス雑貨を搬入してきました。



【3月】  
 3月4日(水) 10:30~14:00  
 長久手市文化の家にて  
 putti \* marche  
 に出店します。今回はワークショップではなく、ガラス雑貨の販売です♪お時間ある方は遊びにきてくださいね☆

今月の作品



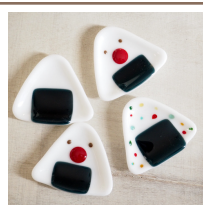
フュージングで作ったお花をスタンドグラスで一輪挿しにしました。  
 小ぶりですが、かわいいですよ☆



節分皿とスプーンのセットを作りました。



バレンタインに向けたハートのお皿。シンプルだけど、可愛いです☆



つつい顔をつけたくなるおにぎり小皿です☆



白と透明ガラスだけで作ったシンプルなお皿とカトラリーです。



白と透明ガラスだけで作った、オトナなお雑様です。ハンダ部分をアンティーク色に染めたものと、染めずにそのままシルバーで仕上げたものと2種類作りました。同じようなお雑様ですが、だいふ雰囲気が変わりますね～

2020年  
 1月31日(金)  
 第37号

毎月月末に発行します。  
 日々の暮らしに役立つ情報やユニットのオススメ情報、スタッフのコラムなどを掲載していきます。

ユニット新聞

ブログやFacebookには、ガラスの作品も掲載しています。是非ご覧くださいね。

<http://blog.unit-interior.com>

Facebookもチェック



スタッフコラム

Unitガラス工房のリーダー。趣味はゴルフ。ちょっと毒舌?だけど、それはすべて「親しみをこめて」のこと。愛嬌たっぷり、ユーモアたっぷり、みんなを元気にするパワフルリーダー。



先日、弊社の看板を見て、わざわざ探してきていただいたお客様がみえました。大変ありがたいことです。工房の玄関側には、いろいろ看板など出ているので、分かりますのですが、裏側には、なにもないので迷われたのかと思います。これを機に、工房の裏側から見ても、「ここにあるよ」というのが分かりやすいような看板を作るかと計画中です。今は、スタッフと、看板屋さんとおれやこれや、検討中の段階です。皆様に、どんどん発見してもらって、手作りする時間を共に、楽しんだり、作家さんとして共に活動したりできたらいいなと思っています。

Unitガラス工房のHP担当。月刊ユニット新聞の編集長。他にもサンドブラスト、フュージング、スタンドグラスのガラス教室を担当しています。今は、5歳の男の子の子育て中。ドタバタな日々を送っています。ぜひ、アドバイスがあれば…ご指導ください。

早いもので、Unit新聞の発行をはじめて丸3年が経ちました。毎月末、スタッフに嫌がられながらも、なんだかんだここまで続いたのでルーティーンになってきました。

話は変わりますが、5歳の息子が、しまじろうのテレビを見て、「バレンタインにはチョコレートがもらえるらしい」ということを覚え、とてもバレンタインを楽しみにしています。「まは、バレンタインにチョコくれるんだよね」「あさのニュースでチョコだけではきもちがつかないとおもう人は、プレゼントもあげるって、いったよ」と言うのです。よくよく聞いてみると、ママの大切なものとか、遊園地に連れていってとか、チョコ以外にもプレゼントすると、大好きな気持ちが伝わるよ!と言うんです…(^^;; 「何!?このアピールは!!」と内心こっそり思っていたところ、今度は次の日の夕方、一生懸命平仮名の「あ」を練習しているんです。「どうしたの?」と聞くと、ママからチョコもらったら「ありがとう」のお手紙書きたいから練習しているんだそうです。「パパは、お手紙書いた方が嬉しいこと、気づかないと思うから、僕が練習するの。そうしたら、ママお手紙もらえてうれしいでしょ?」って。まあ、たしかに、それはそうですが…全て当たってはいるのですが…なんだか、日々「チョコプレッシャー」をかけられているような…笑 そして、こんなに楽しみにされると、適当なものをあげにくくなります。これも作戦かしら?作戦だとしたら、5歳児にしてなんという戦略家!

みなさんは、バレンタインどう過ごされますか?

Unitガラス工房のナンバー2。とってもモキッカリしているのでも、ビシッとUnitチームをまとめてくれます。趣味は、なんとメモ。いろんなことを記録するんです。ビックリ!あと、料理がとっても得意なので、みんなの体調管理もしてくれています。



今日17日、中日ドラゴンズ元監督の高木守道さんが急逝された。選手時代、特にファンだった訳でもなく、寧ろ采配に不満で監督時代は好きではなかった筈なのに、何故かその訃報が気になって仕方なく、翌日からのテレビ・ラジオの追悼番組は全て録画・録音し新聞も貪るように読んだ。これ迄も気になる有名な有名人の訃報は有っても、こんな思いに駆られたことなど皆無だったから不思議でたまらなかった。ところが、私と同じ気持ちの人が実に多いということが次第に分かってきた。特に民法AMラジオは連日、高木さんを悼む声が数々寄せられ、それを読むアナウンサーも声を詰まらせ乍ら自らの体験談を語り…一週間を過ぎてても途切れることはなかった。こうした中で再発見した高木さんの人となりは、今後、私の残された人生を改めて真摯に考える機会となった。『寡黙で職人気質、地位や名誉には無頓着で常に熱く、ちょっぴりお茶目』とこんな風に親しまれ、間際迄ラジオのトーク番組で笑わせてくれたり、元気でゴルフに楽しんだり誰も「昨日迄あんなに元気だったから信じられない」という『死に方』だった。やっぱり、誰にも迷惑を掛けずにコロッと逝って泣いて貰えるような死に方ができる『生き方』をしなくてはならないと心から思った次第である。

ところで、バツサリと髪を切った。ヘアカタログなる物を書店で求めて持参したのに、とんでもないスタイルに変身してしまい落ち込んでいる。言えなかったけど、「これって失敗ですか?」「知らんけど」(大阪弁で)トホホ…

Unitガラス工房の工房長。羊毛フェルト教室とサンドブラストのガラス教室を担当しています。手先がすぐく器用なので、大工仕事も得意です!いつも工房では作業着ですが、私服はとってもモオシャレ☆



先日、ハビナビ名古屋さんが、羊毛フェルト教室の取材にきてくれました。「取材」というので、いつもより綺麗にしておいた方がいいな、とそわそわしていたのですが、実際は、通常業務でバタバタしてしまい、いつも通りのレッスン室で取材を受けました。僕としては、普段と同じレッスンをさせていただいたのですが、実際に、原稿を見せてもらうと、とても女性向けの可愛い雰囲気のあるページに作っていただいて、嬉しく思っています。ハビナビ名古屋さんは、中日新聞系のフリーペーパーで新聞を取って見える方には、折り込み広告と一緒に入るみたいですが、新聞を取って見えない方の家にもポストに貼られるそうです。2月号の特集記事に載りますので、ぜひみてください。僕も楽しみに見ます!